

要人往来

今年3月における出国日本人数は前年同月比12.1%増を記録し、今年2月に続いて12%台の高い伸びを維持しました。「海外旅行の復活」に向けて順調な動きを見せる日本のアウトバウンド市場には、各デスティネーションからの熱い視線が注がれています。



旅行商品造成などで協力を要請

インドネシア

4月7日(金)

イグデ・ピターナ
インドネシア観光副大臣(左)

JATA本部を訪問

し、ツーリズムEXPOジャパンのスポンサーシップも含め、インドネシアへの旅行商品造成やプロモーションについてJATAに協力を要請しました。



日本人旅行者の増加を図りたい

ハンガリー

4月7日(金)

シェスターク・マイクロシュ
ハンガリー国家開発大臣(左)

志村理事長を訪れ、「ハンガリーを訪れる世界各国からの旅行者が増えており、日本人旅行者の増加も図っていききたい」考えを表明。志村理事長は「ハンガリーは日本人に知られていない素材が豊富なので、是非、その魅力をアピールしてください」と応じました。



JATAの協力に謝意を表明

韓国 4月10日(月)

チョン・チャンス 韓国観光公社社長(左)

田川会長を訪問し、JATAの協力に対する謝意を表明。田川会長は「現在、様々な課題

に直面していますが、民間交流に力を入れることで乗り越えていきます。日韓双方の協力により、観光交流と友好的な関係をさらに深めていきたい」と応えました。



リピーターとMICEツアーが増加

パラオ 4月11日(火)

シンゲオ・ナナエ パラオ政府観光局局长(中)

志村理事長を訪れ、「価格競争に陥らないようにプロモーションを

進めていきたい。日本からはリピーターやMICEツアーが増えており、これからはシニアやファミリー、ウェディングにもパラオの魅力をアピールしていきます」と説明。志村理事長は、パラオが毎年ツーリズムEXPOジャパンに出展していることへの謝意を伝え、「今後もパラオの魅力を発信し続けていただきたい」と応じました。



“One more trip”などのキャンペーンを展開

韓国 2月27日(月)

アン・ジュンホ ソウル特別市観光体育局长(左)

ソウル観光公社のキム・ビョンテ局長とともに

菊間副会長を訪れ、「ソウル市への旅行者数を拡大するために、“One more trip”などのキャンペーンを展開しています」と説明。菊間副会長は「ツーリズムEXPOジャパンへの単独出展でソウル市のイメージアップを高めていただきたい」と要請しました。



日本路線就航へJATAの支持を要請

タイ 3月6日(月)

ピヤ・ヨドマニ ノックスカート航空CEO

志村理事長を訪問し、ICAOによるタイへの

「重大な安全上の懸念」が解除されていない中、JATAからの支持を要請。志村理事長は「日本路線への就航が実現されれば、JATAとしてサポートしたい。日本とタイの修好130年を機に二国間の観光促進を図りたい」と応じました。



ファムツアーなどの企画に協力

米国 3月7日(火)

ニューイングランドからセールスミッション

志村理事長を訪れ、「ボストンなどへのファムツアーの企画があれば、協力したい。カナダとの組み合わせやボストンへの留学・就学旅行も可能です」と説明。志村理事長は「ボストン以外への個人旅行は難しいので、ニューイングランドへのパッケージツアーに力を入れる必要があります」とアドバイスしました。